

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	第5回西区アートフェスティバル 【事業費予算 1,800 千円】
事業目的・概要	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アート」の表現を通して西区全体の文化風土を耕して、区民の一体感を醸成する。 ・西区でアートの表現活動に取り組んでいる団体等に発表の場を提供し、幅広い区民から知ってもらう。 ・大学の存在をはじめ、学術・文化豊かな西区のパワーを発信する。 <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合奏、合唱、芸能、ダンスの団体の発表の場として、また、西区にちなんだ多様なアート作品展示により、西区の宝を共有するイベントを開催した。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p><音楽・芸能部門> 平成29年10月22日(日)10:00~16:00 黒崎市民会館ホール 【出演団体】16団体、308人 《合奏, 合唱, 芸能, ダンス, 特別ゲスト》</p> <p><アート展示部門> 平成29年10月21日(土)12:00~17:00、10月22日(日)9:00~16:00 黒崎市民会館ホワイエ等 【作品内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①流木アート(新潟大学教育学部美術科学生による空間演出作品) ②光の造形(新潟大学工学部による空間演出作品) ③区内小学生の自由研究優秀作品 ④西区ゆめプロジェクト「夢の区の姿」 ⑤西区ふれあいカレンダーのイラスト原画及び公募写真 <p>【来場者】: 延べ946人</p> <p>【西区アートキャラバンとの連携】 アートクロッシングにいがた実行委員会に参画して、流木アートや光の造形などの空間演出作品を、黒崎市民会館、坂井輪地区公民館、西新潟市民会館や内野まちづくりセンターに巡回展示する西区アートキャラバンを実施した。</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>【地域課題の抽出とその解決策】 西区は、坂井輪地域・西地域・黒崎地域の3地域で構成されており、各地域の文化活動は盛んだが、西区が一体となった文化活動が見られなかった。そこで、西区で音楽芸能活動やアート作品の制作に取り組んでいる団体に総合的な発表の場を創出し、区民の一体感を醸成を図った。</p> <p>【アンケート結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆調査方法: 来場者を対象に当日アンケート配布を行い、退場時に無記名回答。 ◆有効回答: 450名(有効回答率47.6%) <p>>アートフェスティバルはいかがでしたか [とても良い…60.9%、まあまあ良い…23.6%、ふつう…4.2%、やや不満…0.4%、不満…0.2%、無回答…10.7%]</p> <p>【評価(成果)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果において、前回よりも若い世代の参加も進み、幅広い世代の区民から一体となって楽しんでいただくことができた。 ・新たに実施した「区内小学生の自由研究優秀作品展示」については、出品者及びその保護者から多数ご来場いただき、自身の作品展示を喜んでいただくとともに、来場者の増加につなげることができた。 ・また、新たに音楽とアートが融合する書道パフォーマンスの演目を取り入れ、ステージ終了後においても継続して作品展示を楽しんでいただくことができた。 ・各ステージに対応した照明演出に取り組み、出演者・来場者双方の盛り上がりにつなげることができた。 ・西区アートキャラバンの実施により、当日来場者だけでなく各地域の方々に西区のアートの魅力を発信することができた。 ・運営スタッフの対応が良かったとの声もいただき、来場者の満足度の向上につなげることができた。 <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知度の向上とともに区外からの参加者も増加し、アンケートにおいても高い満足度と継続の要望が多く寄せられており、引き続き、企画内容の充実と一層の周知に向けて取り組んでいく必要がある。 ・閉会挨拶やエンディングの最後まで、来場者に楽しんでもらえるようなプログラム構成や緞帳開閉のタイミングなど工夫が必要である。 ・企画内容の充実と来場者数の増加とともに、駐車場案内など運営の工夫を検討していく必要がある。 ・開催にあたって、関係者全員が一体となってより円滑な進行を行えるよう、情報共有のための最終打ち合わせ会議の設定など工夫する必要がある。
備考	